



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東名札

上場会社名 株式会社スズケン

コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 裕史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 山本 律

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	939,180	△2.0	2,709	△29.6	10,776	△11.9	6,691	△15.5
26年3月期第2四半期	958,485	4.2	3,850	—	12,229	50.4	7,919	678.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 14,528百万円 (88.9%) 26年3月期第2四半期 7,692百万円 (421.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	74.23	—
26年3月期第2四半期	87.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	992,858		337,594		34.0	
26年3月期	1,027,133		325,996		31.7	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 337,166百万円 26年3月期 325,538百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	29.00	54.00
27年3月期	—	27.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,007,000	0.9	13,470	△24.5	30,070	△14.9	17,600	△17.9	195.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	93,949,167 株	26年3月期	93,949,167 株
27年3月期2Q	3,806,854 株	26年3月期	3,806,289 株
27年3月期2Q	90,142,641 株	26年3月期2Q	90,143,821 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が続いているものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や夏季の天候不順の影響もあり、個人消費の伸びは鈍化いたしました。

医療用医薬品市場は、高齢化の進展に伴う生活習慣病関連薬剤・抗悪性腫瘍剤等の市場拡大や新薬の寄与があったものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や薬価改定、後発医薬品の使用促進などの影響があり、マイナス成長となりました。

また、お得意さまニーズの多様化・高度化への対応など、医薬品卸を取り巻く経営環境は引続き厳しい状況にあります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,391億80百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は27億9百万円（前年同期比29.6%減）、経常利益は107億76百万円（前年同期比11.9%減）、四半期純利益は66億91百万円（前年同期比15.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成26年3月期 第2四半期累計期間	平成27年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	912,403	892,508	△2.2
	営業利益 又は 営業損失(△)	1,111	△71	—
医薬品製造事業	売上高	31,941	29,669	△7.1
	営業利益	1,143	1,805	57.9
保険薬局事業	売上高	41,264	42,809	3.7
	営業利益	946	872	△7.9
医療関連サービス等事業	売上高	13,644	15,803	15.8
	営業利益 又は 営業損失(△)	82	△404	—

（注）セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

（医薬品卸売事業）

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き流通改善に取り組んでおります。具体的には、お得意さまごとに個々の医療用医薬品の価値に見合った粘り強い価格交渉に努めております。また、多様化・高度化するお得意さまニーズに対応し、顧客信頼度ナンバーワンを実現するため、お得意さまに提供するサービスの最適化と強い物流機能の確立に取り組んでおります。

売上高は、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動に継続して取り組んでいるものの、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や薬価改定、後発医薬品の使用促進などの影響があり、前年同期比2.2%の減収となりました。

営業利益は、適正な利益の確保に向けた活動を徹底したものの、減収などの影響により営業損失となりました。

これらの結果、売上高は8,925億8百万円（前年同期比2.2%減）、営業損失は71百万円（前年同期は11億11百万円の営業利益）となりました。なお、現時点における販売価格の未決定先につきましては、合理的見積価格としております。

(医薬品製造事業)

売上高につきましては、糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めてまいりましたが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や薬価改定の影響により減収となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費の削減により増益となりました。

これらの結果、売上高は296億69百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は18億5百万円（前年同期比57.9%増）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aや新規出店により増収となりました。営業利益は、人材確保に伴う人件費などの増加により減益となりました。

これらの結果、売上高は428億9百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は8億72百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

(医療関連サービス等事業)

主に、介護事業において、新規に開設した施設を中心に順調に利用者が増加いたしました。一方、更なる地域密着サービスの強化に向けた施設の新規開設や介護従事者の確保により、売上原価が増加いたしました。

また、医薬品メーカーを対象とした倉庫業を営む㈱コラボワークスにおいて、新規大型案件を受託したことに伴う新物流センター構築により、売上原価が増加いたしました。

これらの結果、売上高は158億3百万円（前年同期比15.8%増）、営業損失は4億4百万円（前年同期は82百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ342億75百万円減少し9,928億58百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ458億39百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が123億99百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が329億78百万円、有価証券が19億91百万円、商品及び製品が235億71百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ115億63百万円増加いたしました。これは主に保有株式の時価上昇などにより投資その他の資産が113億22百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ458億73百万円減少し6,552億64百万円となりました。これは主に直近の仕入高の減少などにより支払手形及び買掛金が448億55百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ115億97百万円増加し3,375億94百万円となりました。これは主に剰余金の配当を26億14百万円支払ったものの、四半期純利益を66億91百万円計上したことおよび保有株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が75億98百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月28日に公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、平成26年5月9日に公表いたしました予想数値を据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が887百万円、退職給付に係る負債が471百万円、利益剰余金が268百万円それぞれ減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,992	96,391
受取手形及び売掛金	480,025	447,046
有価証券	21,300	19,309
商品及び製品	155,634	132,062
仕掛品	2,027	3,259
原材料及び貯蔵品	2,364	2,431
その他	35,249	34,060
貸倒引当金	△2,386	△2,193
流動資産合計	778,207	732,368
固定資産		
有形固定資産	112,225	113,330
無形固定資産		
のれん	480	547
その他	20,579	19,647
無形固定資産合計	21,059	20,195
投資その他の資産		
投資有価証券	93,425	105,568
その他	23,085	22,282
貸倒引当金	△869	△886
投資その他の資産合計	115,642	126,964
固定資産合計	248,926	260,490
資産合計	1,027,133	992,858

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,348	599,493
短期借入金	420	410
未払法人税等	9,188	3,568
返品調整引当金	493	448
賞与引当金	8,967	7,743
その他	13,616	15,963
流動負債合計	677,035	627,626
固定負債		
長期借入金	432	426
役員退職慰労引当金	676	693
退職給付に係る負債	4,198	3,602
その他	18,793	22,914
固定負債合計	24,101	27,637
負債合計	701,137	655,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	275,067	278,976
自己株式	△12,073	△12,075
株主資本合計	315,438	319,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,675	26,273
土地再評価差額金	△5,904	△6,004
為替換算調整勘定	384	208
退職給付に係る調整累計額	△3,055	△2,657
その他の包括利益累計額合計	10,100	17,820
少数株主持分	457	428
純資産合計	325,996	337,594
負債純資産合計	1,027,133	992,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	958,485	939,180
売上原価	872,016	854,468
売上総利益	86,469	84,711
返品調整引当金戻入額	414	493
返品調整引当金繰入額	425	448
差引売上総利益	86,458	84,756
販売費及び一般管理費	82,607	82,047
営業利益	3,850	2,709
営業外収益		
受取利息	381	333
受取配当金	675	709
仕入割引	3,948	3,689
受入情報収入	2,539	2,517
その他	1,049	1,014
営業外収益合計	8,593	8,264
営業外費用		
支払利息	11	11
不動産賃貸費用	102	102
その他	101	83
営業外費用合計	214	197
経常利益	12,229	10,776
特別利益		
固定資産売却益	14	46
投資有価証券償還益	755	-
負ののれん発生益	-	27
保険解約戻金	207	-
その他	214	11
特別利益合計	1,190	85
特別損失		
固定資産除売却損	263	128
減損損失	62	2
固定資産圧縮損	157	-
その他	32	8
特別損失合計	515	139
税金等調整前四半期純利益	12,904	10,722
法人税等	4,966	4,013
少数株主損益調整前四半期純利益	7,937	6,708
少数株主利益	18	17
四半期純利益	7,919	6,691

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,937	6,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△565	7,598
為替換算調整勘定	15	△18
退職給付に係る調整額	-	397
持分法適用会社に対する持分相当額	303	△157
その他の包括利益合計	△245	7,820
四半期包括利益	7,692	14,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,676	14,511
少数株主に係る四半期包括利益	15	17

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,904	10,722
減価償却費	5,873	5,824
減損損失	62	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△384	△176
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	399	-
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△201	△1,253
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	100
受取利息及び受取配当金	△1,056	△1,043
支払利息	11	11
固定資産除売却損益 (△は益)	249	82
固定資産圧縮損	157	-
投資有価証券償還損益 (△は益)	△755	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,755	33,032
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,343	22,297
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68,743	△44,952
その他	△208	1,939
小計	△50,101	26,587
利息及び配当金の受取額	1,196	1,241
利息の支払額	△11	△11
法人税等の支払額	△5,643	△9,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,559	18,589

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,750	△4,392
定期預金の払戻による収入	4,675	3,602
有価証券の取得による支出	-	△7,008
有価証券の売却及び償還による収入	3,900	2,400
有形固定資産の取得による支出	△3,073	△3,647
有形固定資産の売却による収入	501	258
無形固定資産の取得による支出	△1,289	△1,406
投資有価証券の取得による支出	△5,461	△3,753
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,004	1,003
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△766	△97
その他	△512	△78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,774	△13,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	1
長期借入金の返済による支出	△18	△18
リース債務の返済による支出	△222	△209
割賦債務の返済による支出	△10	△9
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△2,253	△2,613
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,539	△2,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△61,861	2,609
現金及び現金同等物の期首残高	152,449	93,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,587	96,442

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	895,344	11,552	41,260	10,327	958,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,059	20,388	3	3,316	40,767
計	912,403	31,941	41,264	13,644	999,253
セグメント利益	1,111	1,143	946	82	3,283

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,283
セグメント間取引消去	566
四半期連結損益計算書の営業利益	3,850

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	874,876	10,094	42,806	11,402	939,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,631	19,575	2	4,400	41,609
計	892,508	29,669	42,809	15,803	980,790
セグメント利益又は損失(△)	△71	1,805	872	△404	2,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,202
セグメント間取引消去	507
四半期連結損益計算書の営業利益	2,709

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社間の合併)

平成26年10月1日付で、当社の連結子会社である㈱コラボクリエイトを存続会社として、㈱SDネクストを、㈱スズケンロジコムを存続会社として、秋山物流サービス㈱と㈱コラボワークスを吸収合併いたしました。

1 ㈱コラボクリエイト、㈱SDネクストの合併

(1)取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称	㈱コラボクリエイト
事業の内容	医薬品メーカー物流の企画
被結合企業の名称	㈱SDネクスト
事業の内容	希少疾病領域を中心とした医薬品の流通コーディネーター

②企業結合日

平成26年10月1日

③企業結合の法的形式

㈱コラボクリエイトを存続会社とする吸収合併方式で、㈱SDネクストは解散いたしました。

④結合後の企業の名称

㈱エス・ディ・コラボ

⑤その他の取引の概要に関する事項

当社グループの成長戦略「医療流通プラットフォームの強化」推進の一環として、医薬品メーカーに対する総合支援機能の強化を図るためであります。

(2)実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

2 ㈱スズケンロジコム、秋山物流サービス㈱、㈱コラボワークスの合併

(1)取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称	㈱スズケンロジコム
事業の内容	配送・入出庫業務請負
被結合企業の名称	秋山物流サービス㈱
事業の内容	配送・入出庫業務請負
被結合企業の名称	㈱コラボワークス
事業の内容	医薬品メーカー物流の受託、管理

②企業結合日

平成26年10月1日

③企業結合の法的形式

㈱スズケンロジコムを存続会社とする吸収合併方式で、秋山物流サービス㈱、㈱コラボワークスは解散いたしました。

④結合後の企業の名称

㈱エス・ディ・ロジ

⑤その他の取引の概要に関する事項

当社グループの成長戦略「医療流通プラットフォームの強化」推進の一環として、メディカル領域における物流基盤の強化を図るためであります。

(2)実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分)に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。